

* 弥生3月、春彼岸を迎えます。今年の冬は全国平均では暖冬、雨も少なく、関東の水がめは渇水や水不足という状況ではないものの、夏までに貯水池周辺での雨を期待する状況だそうです。一方、北海道では、1月には旭川市で-29.5度Cと富士山頂よりも低い記録が報告され、その数日後にはホワイトアウトの暴風雪で凍死者もおられました。2/21には胆振東部地震が発生、昨年9月の大地震で震度6が記録され、大変な冬でした。関東は他の地方と比べると今のところは災害が少ないですが、いつ何とき大きな天災に見舞われるかわかりません。平成に入ってからの大災害は40件を超えていますし、その半分以上は地震を起因としています。3/11は東日本大震災から8年目を迎えますが、いまだに仮設住宅での生活をしている方々がおられることを思うとき、自分がその中に入らない保証はありません。「2011年の東日本大震災はまだ終わっていません。2019年のうちに“続き”が起こる可能性が大いにあるのです」との見解を発表された学者がおられます。東日本大震災に遭遇した東北の学校では、定期的に避難訓練を続けているとか。いざという時のために、日常から家族での話し合いを習慣づけるという良いでしょう。



東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <https://www.tokometal.co.jp/>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

* 3月にはまた毎年、桜前線が気を迎えます。今年の関東は20日前後の開花予定です。桜に元気を貰って新しい年度を迎えましょう。

* 東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を“いつでも”お受け致します。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの3月予測

営業部 Y の考察



鉄スクラップ → 考察) 2月はトルコや、ベトナム等海外価格の上昇で国内電炉メーカーも値動きが激しく、指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格が31,000円/トンから34,000円/トンまで上がりました。この勢いは3月も続くと思われます。



銅 ↘ 考察) 2月はLME6,160ドル/トン、国内銅建値710,000円/トンでスタート。為替や米中関係の回復の期待感から、最終的にはLME6,580ドル/トン、国内銅建値770,000円/トンまで上昇。3月に至っては、中国の景気減退からみて下がると思われます



アルミ ↗ 考察) 2月はLME1,910ドル/トンスタート2月末まで動きはありませんでした。3月に至っては、英国のEU離脱の行方や米中貿易摩擦の影響が出てくる可能性があるため相場は乱高下する可能性があります。

プラスチック ↻ 考察) 廃プラを中心とした廃棄物の状況は、まだまだ先が見えない状況です。中間処理場から先の焼却場も kgあたり60円〜70円に上がる勢いです。今後も、値下げ交渉より受け入れ枠の交渉が重視されるでしょう。

2月予測の自己評価

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| 鉄スクラップ | ○ | アルミ | × |
| 銅 | ○ | プラスチック | - |

★羅針盤

自動車リサイクル法の現状 (施行状況)

今、地球温暖化防止及び資源循環型社会構築は喫緊の課題となり、その対応に世界各国が取り組んでいます。

わが国でも、平成6年に完全施行された環境基本法と、その下位法に位置付けられるとともに、廃棄物・リサイクル対策に関する個別法に対しては、上位法としての役割をもつ「循環型社会形成推進基本法」が平成12年に制定されたことにより、廃棄物・リサイクル政策の基盤が確立されました。個別法としては「廃棄物処理法」「資源有効利用促進法」「容器包装」「家電」「食品」「自動車」「小型家電」等が運用されています。その中の一つ「自動車リサイクル法」は平成17年1月から本格施行されております。

今号では、その自動車リサイクル法の施行状況を紙面の制約で概要のみですが、経済産業省自動車課の資料からご紹介します。この法律では、使用済自動車をリサイクルするための処理料金(リサイクル料)は、購入時に加算されて支払う方式で、「資金管理法人」が預かり、リサイクルを実施した際にそのリサイクル料金をメーカー(自動車製造業者・輸入業者)に支払います。

(1) 使用済自動車の引取台数等
 自動車リサイクルに関連する台数の推移を下表にまとめました。(万台)

| | H17年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 使用済自動車引き取り台数 | 305 | 333 | 316 | 310 | 330 |
| 輸出抹消登録台数 | 107 | 163 | 154 | 151 | 163 |
| 中古車販売台数 | 811 | 684 | 679 | 676 | 694 |
| オークション流通台数 | 798 | 728 | 719 | 722 | 752 |

国内での新車販売台数は概ね500万台強で、使用済自動車の引取台数と輸出未梢登録台数の計500万台弱に近い数字を示しています。

(2) 特定再資源化等物品(フロン類、エアバック類、シュレッターダスト)の処理体制体制

①フロン類、エアバック類
 一般社団法人自動車再資源化協力機構が自動車メーカー等からの委託を受け、一元的にフロン類、エアバック類を引き取り、リサイクル及び破壊を実施。

②シュレッターダスト
 規模の利益によるコスト削減、破碎業者の業務円滑化を背景に、ART及びTHグループの2チームにおいてリサイクルを実施中。

(3) 自動車メーカー等のリサイクル率(基準をクリアーしております)
 シュレッターダスト(基準70%)

- ・ARTチーム:98.2%
- ・THグループ:98.1%
- エアバック(基準85%):94%

単身赴任 その2(大阪)

生産部 町田秀雄

新年を迎えたかと思っていたら、既に春の日差しが心地よく感じられる季節になってしまいました。寒々とした日々から、汗だくの日々への切り替わりです。

前回は、当時の悩みは子供の先々の教育資金でした。転職前後での賃金の変化により、先々を見る事が出来ない状況が続いていました。とお話していましたが、その悩みを解決するメールが突然届きました。「大阪にある機器メーカーからでした」。最初は不信に思い放置していましたが、再度異なる内容でメールが届き、何度かのメールのやり取り後に旅行気分初めて大阪へ行きました。その後、2度3度と大阪で会い、最初に抱いた不信感も無くなり単身赴任生活を、決意しました。

毎度の事ですが、家族には何も告げずに決めている事もあり、引越しの為に車に衣服や身の回りの物を車に積み込んでいた時に、妻から「何処へ行くの?」と聞かれ「大阪」と返すと「フ〜ン」で会話が終わり、栃木から高速道路を使用し、6時間20分のノンストップで到着しました。それから約4年の間、数回ご紹介した学童野球の関係で、2週間に一度の頻度で週末には大阪と栃木を往復していました。

大阪での最初の衝撃は、会社の従業員から話で「町田さん、大阪はね、言った者勝ちだから黙っていると負けだよ」、(私)「何故?有る事無い事話したら、馬鹿でしょう」、(従業員)「それはね関東の人。大阪では、嘘でも何でも言った方が勝ち」と、言い放されてしまいました。

また、クリスマスや正月前のスーパーの商品陳列に驚かされました。私の知っていた範囲では、鮮魚コーナーにマグロや蛸などの刺身が、わんさか並ぶと思っていたのですが、違いました。マグロと言わず刺身がほとんど無く、陳列棚には調理されていないふぐや調理されたふぐだけで、地域の違いを強く感じました。

衝撃の最後は、大阪のイメージとしては、関東平野の様な平らなイメージをしていたのですが、私の活動範囲は上り下りがほとんどで、傾斜の無い道の方が少ないくらいでした。

山と言えば、生駒山の裾野に家が有った事もあり、栃木に行かない週末は、大阪桐蔭高校や智弁学園の野球の練習を良く見に行った事を思い出します。

その後、三重の松阪に移動になりました。松阪では松阪牛を食べる事無く、今では甲子園の常連になってきた、三重高校の練習を見に行き週末を過ごしていました。

生活に慣れ、ゆったりとした日々が流れていましたが、突然辞令を持って社長と常務の来社があり、次回テーマの中国への赴任となりました。